



地域(亀山市)と連携の取れた三重県づくり

三重県議会議員

県政レポート

長田たかひさ

2015年7月
No.26



事務所

〒519-0124 亀山市東御幸町233-2
TEL 0595-82-8700 FAX 0595-82-8775
ホームページ <http://www.enjoy-nagata.jp/>

所属委員会

- 戦略企画雇用経済常任委員会 委員(戦略企画部、雇用経済部、出納局、議会事務局、監査委員、人事委員会、労働委員会の所管及びこれに関連すること)
- 予算決算常任委員会 委員(予算、決算及びこれに関連すること)
- 広聴広報会議(「みえ県議会だより」の発行、みえ県議会出前講座の実施、テレビや新聞などでの県議会の広報に関すること)

◇皆様のご意見をお聞かせ下さい◇

2016年5月26日・27日 伊勢志摩サミット開催決定



7月中旬までの経過

2014年 (平成26年)	● 8月: 関係閣僚会合の誘致を表明 ● 8月: 「誘致計画案(概要)」(関係閣僚会合)を外務省に提出 ● 10月: 「2016年みえ伊勢志摩サミット関係閣僚会合誘致推進協議会」を設立
2015年 (平成27年)	● 1月: 「誘致計画案(概要)」(首脳会議)を外務省に提出 ● 1月: 外務省現地調査 ● 1月: 首脳会議の誘致を表明、プロジェクトチームの設置を発表 ● 2月: 「2016年みえ伊勢志摩サミット誘致推進協議会」に名称変更 ● 6月5日: 「伊勢志摩サミット」開催決定 ● 6月8日: 「三重県雇用経済部みえ伊勢志摩サミット推進局」を3課(サミット総務課、サミット開催支援課、サミット事業推進課)16名体制で設置(県職員16名) ● 6月22日: 三重県警察本部警備部に「サミット対策課」(定員66人)を設置 ● 6月24日: 「三重県雇用経済部みえ伊勢志摩サミット推進局」を34名体制に増強(県職員28名、県警2名、市職員4名) ● 6月26日: 「伊勢志摩サミット三重県民会議」(官民一体となった三重県全体の受け入れ体制)設立「三重県伊勢志摩サミット推進本部」(三重庁内横断組織)設置 ● 7月15日: 「三重県雇用経済部みえ伊勢志摩サミット推進局」を「三重県雇用経済部伊勢志摩サミット推進局」に名称変更するとともに、HOWAビル津(津市栄町2丁目380番地)4階に事務所を移転。そして企業から9名の職員を受け入れ、43名体制(県職員28名、県警2名、市職員4名、企業9名)へ増強

経済効果

九州・沖縄、北海道洞爺湖の各サミット

九州・沖縄 経済効果 約440億円 (開催前の試算)	● 名護市の2014年度の宿泊者数 124万人(00年から倍増) ● 「かりゆし」の製造枚数 00年:11万枚→13年:43万枚(4倍増) ● 市商工観光課「サミットで観光地としての知名度が上がった」
北海道・洞爺湖 経済効果 約350億円 (試算)	● 洞爺湖町の2014年度の宿泊者数 08年度より9%少ない62万人 ● サミット会場になったホテルは昨年、売却された ● 地元観光協会「サミットがなければもっと減っていたかも」

伊勢志摩サミット

百五経済 研究所	● 全国では510億円、うち三重県内は130億円(直接効果。国・県の直接関係予算を270億円と想定)	洞爺湖サミットの10倍以上!
大和証券	● 観光消費額が5年間で累積1750億円増(ポストサミット効果。洞爺湖サミットは122億円。奈良県と同程度の訪日外国人/日本人比率を想定。県の訪日外国人観光消費額が平成25年の22億円の17倍の369億円程度、2020年には倍の700億円程度と期待)	

今後の取組及びサミット関連予算 予算約1億円

開催支援 ～万全の態勢で主要国首脳会議を成功させる～ ● 配偶者プログラム ● 公式行事に伴う歓迎交流等 予算約700万円	明日へつなぐ ～子どもたちをはじめ県民が主役となって世界との交流を進め、三重の希望を明日へつなぐ～ ● ジュニアサミット ● 県内学校等による国際交流等 予算約2800万円
おもてなし ～歴史に育まれたあたたかい心で、世界からのお客様の記憶に残る「おもてなし」を行う～ ● サミットフォーラムなどによる気運の醸成 ● 環境美化・飾花運動等 予算約700万円	4つの柱 三重の発信 ～美しい自然、豊かな文化・伝統など、わたしたちが誇りに思う三重を発信する～ ● プレスツアーの開催 ● 県内外の各種イベントなどあらゆる機会を通じた発信等 予算約3900万円
● その他、「伊勢志摩サミット三重県民会議」運営費等 予算約1900万円	

県政報告会を行っています

386回	5月24日	下白木公民館	389回	6月07日	梶ヶ坂公民館	392回	6月17日	向井公民館	395回	6月25日	堂坂集落センター
387回	6月06日	関ヶ丘自治会集会所	390回	6月08日	いっぶく亭木崎	393回	6月19日	関まちなみ文化センター	396回	6月27日	亀山市林業総合センター
388回	6月07日	金場公民館	391回	6月13日	明神公民館	394回	6月20日	富士ハイツ公民館			

Information 平成27年度亀山市内新規事業箇所



① 辺法寺加佐登停車場線交通
安全事業(川崎町)



② 市ノ谷砂防事業(安坂山町)



③ 亀山白山線(亀山橋)照明灯
更新事業



④ 国道25号災害防除事業
(加太北在家)



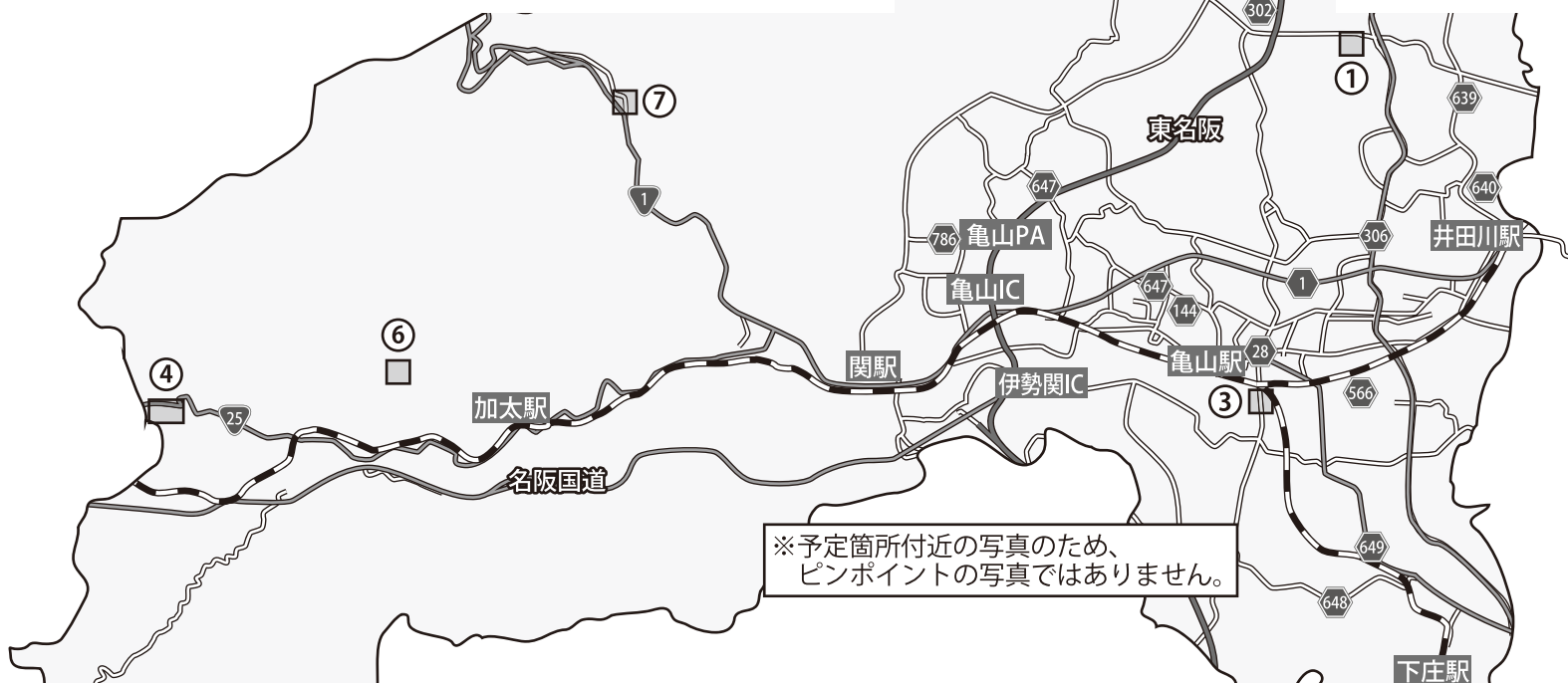
⑤ 馬ヶ背自然災害防止事業
(両尾町・鈴鹿市東庄内町)



⑥ 妹児川自然災害防止事業
(加太梶ヶ坂)



⑦ 「みえ森と緑の県民税」
災害緩衝林整備事業(関町沓掛)



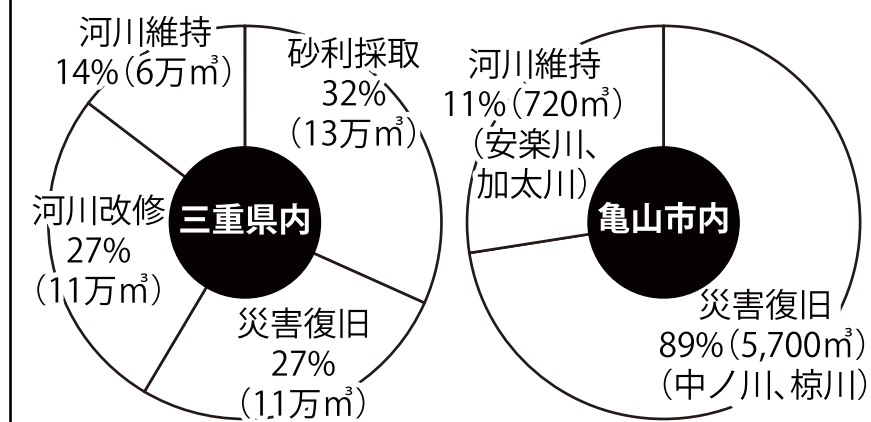
予算決算常任委員会総括質疑(平成27年6月17日)

① 堆積土砂撤去について

Q 昨年度までに策定された「河川堆積土砂撤去の箇所選定の仕組み」において把握している堆積土砂の量はどれくらいあるのか。そのうちAaの分はどれだけあるのか。またAaは、本年度中にすべて撤去できるのか。

A 撤去の必要な堆積土砂として把握しているのが約300万 m^3 、そのうちAaが約40数万 m^3 。砂利採取、災害復旧、河川改修、河川維持の方法を合わせて約40万 m^3 程度は今年度撤去できる予定。Aaの残りについては、樹木の伐採だけでもできるところは行っていきたい。

平成26年度河川堆積土砂撤去実績



優先度のレベル

【優先度マトリクス】

《治水安全度》	A	Ac	Ab	Aa
	B	Bc	Bb	Ba
	C	Cc	Cb	Ca
		c	b	a

《治水安全度》

《撤去の実現性》

レベル	項目
A	1 河道埋塞率が30%以上あり、背後地が人家である。
	2 過去に氾濫実績がある。
	3 災害による異常埋塞である。
B	1 河道埋塞率が30%以上であり、背後地が田畑である。
	2 河道埋塞率が10%以上30%未満であり、背後地が人家である。
C	1 上記に該当無し。

《撤去の実現性》

レベル	項目
a	1 河川環境や利水への影響は無く、砂利採取を活用した撤去が可能である。
	2 河川環境や利水への影響は無く、撤去土砂の処分地が確保されている。
b	1 河川環境や利水への影響は無く、河床整理による対応が可能である。
	2 河川環境や利水への影響は無く、樹木伐採による対応が可能である。
c	1 上記に該当無し。